

会員数	40,426	(前月比) +	52
郵送	8,783	(前月比) -	172
手配り	28,186	(前月比) +	63
協同基金到達額	2,541,057,000円(7/31現在)		
	[前月比 26,295,000減]		
協同基金出資者数	21,478名(7/31現在)		
いのちを守る助け合い募金額	0円(7/1~31)		



ボランティアさんと一緒に昼ごはん

12時に終了し、ボランティアさんが心を込めて作った食事を「黙食」し、終わりの会をして解散。小学1～6年生

約20人が異学校、異学年と机を並べての学習をとってもよく頑張りました、交流もして仲良しになりました。お兄ちゃん、お姉ちゃんに甘えて遊んでもらいました。

3日目になると集中力がやや薄れ、ワル慣れをして羽目を外す男の子も出てきました。それでも暑い中でよく頑張り、元気に帰っていきました。

まもなく親御さんから、「楽しかった、食事がおいしかった、来年も行きたい」と言ってます」というお礼のラインが何通も入りました。

学習支援には、関西大学学生、医学生、耳原総合病院小児科医師、職員、西区社協、教師OBと、幅広くご協力いただきました。

大鳥大社見学では、神職から「お米や水に感謝すること」を分かりやすくお話ししていただきました。また洋菓子リバージュさん他からもご支援を戴きました。

このような多方面から多くの方々にご支援いただき、今年も無事に実施できました。改めて、ありがとうございました。

(鳳支部 小倉孝雄)

鳳支部

来年も行きたい

楽しかった

食事がおいしかった

夏休み子ども塾

7月27～29日

7回目となった「夏休み子ども塾」を7月末に開催しました。コロナの感染爆発中であり、広い会館を借りるなど、感染防止に緊張の毎日でした。

毎日9時、ラジオ体操ではじまり、学習・遊び・交流のほか、チャレンジタイムでは、1日目は折り紙でひまわりづくり、2日目は紙ヒコーキづくり、3日目は大鳥大社を見学しました。



学習タイム



大鳥神社を見学しました

夏の子ども企画

親子で楽しく、夜の生き物を見つけたよ 子ども探検隊

新金岡支部 南花田支部

in 大泉緑地



7月30日午後5時30分集合。大泉緑地の生き物に詳しい佃先生をはじめ、アシスタントの方が2人、子ども11人、保護者7人、スタッフ3人の総勢24人で、いざ林の中へ。セミの一生のこと、樹液の出ているところに昆虫が集まっていると、森の中の掃除屋・シデ虫がいて森がきれいに保たれていることなどの説明を聞きました。

7時を過ぎるとあたりは暗くなり、カブトムシのオス1匹、メス6匹ぐらいを発見できました。「虫、怖い」と言っていた子がセミの又ケガラを手に取り、袋に入れることができるようになっていました。「一人ではできないことが、友だちといるとできるんだ」と改めて感じました。

年長の南結森君の感想を紹介します。

* カブトムシやいろいろな虫をみつけることが、楽しかったです。虫たちは、フヌギの木から出ている樹液をペロペロなめていることにびっくりしました。樹液は変わった匂いがしました。いろいろな生き物がいることにも、びっくりしました。その中でも、セミの抜け殻や死んだ虫を食べるシデ虫という虫がいることを教えてもらいました。シデ虫は、林の中の、おそうじやさん、だそうです。小さくて、かわいかったです。また虫探検に行きたいです。次行く時は先生みたいに蚊取り線香をぶら下げていこうと思います。

保護者の方からは、「勉強になったし、とても楽しかったです」と感想をいただきました。2時間夜の探検は7時30分終了。この行事を通じて、自然に目を向け、親子でいろいろな話ができるようになっていきたいと思います。

(新金岡支部 安田由紀子)

聴診器

ここ10年、夏の暑さは半端じゃないが、近所にある貸し農園では皆さん、いい顔しながら

野菜の世話をされている。これからのまちづくりに園芸療法が必須ではないか▼園芸療法とは、花や野菜などの園芸植物や自然との関わりを通じて、心と体の機能の回復や生活の質の向上を図る療法。心のケアや障がい者の社会参加、認知症の予防や治療に用いられてきた。植物との関わりを通じた身体機能の維持や、気力低下の防止が期待できるため、病院やデイサービスで導入されているところもある▼ここからは私の妄想。耕し手がなくなると畑や、住み手がなくなると土地を市が買い上げ、各小学校区にはいくつもの市民が利用できる貸し農園がある。自治会に入っておけば、低額で畑が借りられるから、若い人たちの自治会参加が増える▼子どもや親たち、現役引退後のシルバー世代が畑を介して交流が生まれる。緑化対策にもなり、植物を育てることで、命の大切さを感じるきっかけにもなる。こうなったらいいなあ。どなたか一緒に市に陳情しませんか？

(緒方浩美)